

■ 萩原 麻由美 議員 令和6年 第3回定例会 代表質問

オリンピックメダリストへの市の対応について

問 報告会などの予定は。

答 現在、市民の皆様と祝福する機会の検討を進めている。(企画部)

市民体育館改修工事について

要望 クライミング等メダリスト選手にちなんだ大会や施設等、市民の健康増進と子供達の夢育成の一助となるような施設整備とスポーツイベントを。

学校体育館空調設備について

問 市内中学校体育館空調設備の今後の予定・稼働時期は。

答 調の負荷計算や設置場所等の設計を進め、令和8年夏の稼働を考えている。(教育委員会)

避難所について

問 学校が不足する緑が丘地区は避難所も少ないが対策は。

答 県立高等学校を指定避難所とすることを予定。現在八千代西高等学校と協議中。(総務部)

耐震補助制度について

問 耐震性が充分でない建物も存在すると考えられている1981年から2000年5月に建てられた木造住宅も含まれる「2000年基準」へ見直す予定は。

答 補助事業の拡大を進めて参りたいと考えている。(都市整備部)

要望 まずは耐震診断補助制度からだけでも早急に「2000年基準」に拡大を。

■令和6年 第3回定例会 委員会質問

■ 塚本 路明 議員〔決算〕

この度「令和5年度決算審査特別委員会」委員長として決算認定の審査に取り組んだ。本市の一般会計決算規模、約708億円に加え、各特別会計及び事業会計において委員11人にて4日間の集中審査が行われた。また、各会計の歳入歳出に対しての質疑応答が活発になされ議論が交わされた。結果、依然として財政の硬直化が進行していることが顕著に表れ、引き続き市政運営の推進には注力しつつも市民サービスの維持向上に努めなくてはならない。

執行機関においては、この審査結果を十分に理解し、尊重した上で次年度の予算に反映することを要望した。

■ 辰己 百恵 議員〔決算〕

問 西八千代南部地区の市街化区域編入に向けて行った意見募集と今後の動きは。

答 道路・下水施設の整備等を望む意見。今後は現況調査、まちづくりのルール作成等を検討。(都市整備部)

問 消防職員への活動服の貸与状況について、1人当たり何着あれば、活動に支障がないのか。

答 職員個々の年齢、職責により消耗度合いも異なるが、一人当たり3～4着は必要。(消防本部)

要望 ここ数年、消防団員への活動服や安全装備品の貸与は充実しているが、令和5年度の貸与数では職員へ行き届くか心配。一線で活動される消防職員への安全管理、衛生管理も含め、必要なものは計画的に貸与すること。

■ 萩原麻由美 議員〔決算〕

問 前年度整備した2施設の定員にまだ余裕があるが来年度以降の市の考えは。

答 最終確認として実施した利用対象となる保護者へのアンケート結果か

ら現施設で賄えるため来年度の増設は見送った。(子ども部)